

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																										
名古屋観光専門学校		平成3年3月30日	木村 新太郎		〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄 5-11-29 (電話) 052-263-6881																										
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																										
学校法人 Adachi 学園		昭和42年1月12日	安達 暁子		〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2番地11番地 (電話) 03-5283-6288																										
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																										
商業実務	商業実務専門課程	ブライダルビジネス学科 ウェディングプランナーコース		平成15年文部科学省 告示第14号	—																										
学科の目的 国際化する社会でブライダル業界は、歴史・文化・人種といった社会を形成する枠組みが変化し時代とともに「結婚式のかたち」が多様化してきました。本校ブライダルビジネス学科では形骸化する事のない「結婚の本質」を学ぶの要とし、日本固有の文化と歴史を継承しブライダル業界で活躍出来る人材の育成を実践し生涯学習の振興に資する事を目的とする。																															
認定年月日 平成28年2月19日																															
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																								
2	年間	120単位	10単位	24単位	66単位	0単位	20単位																								
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																									
160人の内数		60人	0人	4人	17人	21人																									
学期制度	uRL: https://www.meican.net			成績評価 ■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 出席日数+平常点+筆記試験又は実習評価による4段階評価																											
長期休み	■学年始: 4月8日 ■夏季: 7月27日~9月1日 ■冬季: 12月21日~1月5日 ■学年末: 3月16日			卒業・進級条件 所定の過程を納め試験に合格した者について平常の成績及び性向を斟酌し進級および卒業を認める。																											
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 カウンセリング・家庭訪問			課外活動 ■課外活動の種類 野球部・チアリーダーサークル・ブラスバンドサークル 学園祭実行委員・スポーツ大会実行委員・挨拶委員 地域ボランティア活動 ■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報)																											
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和2年度卒業生) 結婚式場・ブライダル業界			主な学修成果(資格・検定等)※3																											
	■就職指導内容 インターンシップ研修・学内企業説明会・個別指導																														
■卒業生数 : 21 人			<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アシスタントウェディングプランナー検定</td> <td>③</td> <td>21</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>山野流着装(初備)</td> <td>③</td> <td>21</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>TCカラーセラピスト</td> <td>③</td> <td>21</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>WE認定ハワイエディンゴコーディネーター</td> <td>③</td> <td>21</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>フォーカススペシャリスト検定</td> <td>③</td> <td>21</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table>					資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	アシスタントウェディングプランナー検定	③	21	21	山野流着装(初備)	③	21	21	TCカラーセラピスト	③	21	21	WE認定ハワイエディンゴコーディネーター	③	21	21	フォーカススペシャリスト検定	③	21	21
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																												
アシスタントウェディングプランナー検定	③	21	21																												
山野流着装(初備)	③	21	21																												
TCカラーセラピスト	③	21	21																												
WE認定ハワイエディンゴコーディネーター	③	21	21																												
フォーカススペシャリスト検定	③	21	21																												
■就職希望者数 : 21 人			※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するが記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																												
■就職者数 : 21 人			■自由記述欄 (例) 認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等																												
■就職率 : 100 %																															
■卒業者に占める就職者の割合 : 100 %																															
■その他																															
(令和2年度卒業生に関する令和3年3月31日時点の情報)																															
中途退学の現状	■中途退学者 2名 令和2年4月1日時点において、在学者46名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者44名(令和3年3月31日卒業生を含む)			■中途退学率 4.3 %																											
■中途退学の主な理由 精神疾患																															
■中退防止・中退者支援のための取組 心の相談室(メンタルヘルスセミナーの常駐) 学科長+担任+保護者 三者連携による見守りサポート、家庭訪問・休学・転科の実施																															
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 【有】・無 ・校友会学費支援金制度 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象【非給付対象】																														
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有【無】																														
当該学科のホームページURL	URL: https://www.meican.net																														

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいいます。調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいいます。卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等につ

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

各分野のエキスパートになる為の「専門知識・技術の習得」と「教養豊かな人間を形成する教育」により社会人基礎力・人間力・基礎学力を基本とし、専門知識・技術の取得と実務への適応力、自己啓発・自己形成の意欲向上、社会貢献できる人材を育成する授業カリキュラムの編成をおこなう。授業カリキュラムの編成にあたり、本校の教員のみならず、外部の企業・業界の有職者と連携し、より実践的な授業科目の動向を含めた授業内容の改善を行う事を基本方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会は校長の下に組織され、教育基本法、学校教育法及び専修学校設置基準、および本校の定める諸規定に基づき、授業カリキュラムの編成をおこなう。委員会における意志決定の過程は学科長より授業カリキュラムの説明を行い、委員会により授業科目の開設及び廃止や授業科目の実施内容の改善等を審議、委員会における議決内容については、校長により取りまとめを行い学則・授業カリキュラム等の変更に関する諸手続きを経て翌年度以降における授業カリキュラムとして実施。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年5月31日現在

名前	所属	任期	種別
川添 恭介	公益財団法人 名古屋コンベンションビューロー	令和3年4月1日～ 令和7年3月31日(4年)	①
豊田 涼子	一般社団法人 全日本ブライダル協会	令和3年4月1日～ 令和7年3月31日(4年)	①
鈴木 結美子	株式会社 ウイッシュ	令和3年4月1日～ 令和7年3月31日(4年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (9月、2月)

(開催日時(実績))

第15回 令和2年9月28日 13:30～15:30

第16回 令和3年2月22日 17:30～19:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

ブライダル業界では、長引くコロナ禍の中 リモートによる営業活動・接客業務が必須となり(ITスキル)と(語学スキル)に優れた人材が求められる。これに伴い学校では、ITの知識のみならず(ネットワーク・リモート・SNS)を使った実習授業を増やし技術修得と外国人講師による外国語授業を再編成。アフターコロナを見据えた人材育成を進める。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業との連携により、学生は実際の現場にて「真の職業人」になる為の実践的スキル・資質の向上を図る。企業側は将来の人材の確保及び運営管理の向上を図る為の人事管理の一環をなすという目的のもと働くことの意義および実社会の組織構造と動向を理解させ、専門教育科目を学ぶ意義を再確認させつつ将来の職業選択に向けての準備をさせることを目的とし本校と企業とが連携を図り産学のパイプを構築する事を基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

学生の職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するため、実習・演習等において当該企業との連携により企業実習授業をおこなう。企業実習授業において事前の打ち合わせを綿密に行い実習授業内容・成果目標や評価方法を明確にすることにより、実践的な職業教育の質の確保による学生の知識・技術の向上を図る。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
結婚式プロデュース実習	本物の新郎新婦様を募集し、学生から一から企画・打ち合わせ・準備・施行を一貫し本物の結婚式を創り上げます。施行は校内外の施設を使用し実際の現場で再現します。	名古屋クレストンホテル

挙式・披露宴実習	アテンド実習・ウエディングプランニングと連動し行います。テーマに合わせたプランニングをチームで行い実際に挙式披露宴に仕上げます。施行は校内外の施設を使用し実際の現場で再現します。	株式会社 Glanz
----------	---	------------

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

企業と連携した研修は、教員に対して職務の遂行に必要な知識・技術を修得させ、その職務の遂行に必要な教員の能力・資質等の向上を図る事を基本方針とする。また、研修は学校長により計画・実施され、教員の勤務年数や性行を学生アンケートと学生取得資格率・就職率等により総合的に判断し、当該教員に必要と思われる研修を受けさせるよう配慮し、教員はその研修に対し企業の指導が効果的に実施されるよう従い、自身の知識・技術の向上に努めなければならない。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「ハワイ・ウエディング・コーディネーター資格」研修 (連携企業等:ウエディングスビューティフル協会)
 期間: 令和2年9月25日(金) 対象: 教職員
 内容: ハワイの歴史・文化・婚礼知識を学び、ハワイウエディングコーディネーター取得を目指します。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「メンタルケアー学生指導勉強会」(連携企業等:臨床心理士 戸田先生)
 期間: 令和2年4月3日(金) 対象: 名古屋観光専門学校 全職員(コロナ対策ををしての分散研修)
 内容: あらゆるタイプ別への理解や対処法、親御様との連携方法を学びます。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名: ベビーシャワー研修(連携企業等一般社団法人BABYSHOWER JAPAN)
 期間: 令和2年9月18日(金) 対象: ブライダル業界関連者(一部 リモート研修)
 内容: ベビーシャワー事業のブライダル参入、資格認定に関して

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「SUEHIROブラッシュアップセミナー」(連携企業等: 合同会社UNIT)
 期間: 令和2年8月25日(火) 対象: ブライダル業界教育者・人材育成担当者
 内容: 勤務年数・スキル別指導方法や、フォロー体制の見直しについての講習

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

「学校点検・自己評価」をもとに企業・業界、卒業生や地域住民を含めた「学校関係者評価」を実施しホームページ上で公開を行うとともに、その結果を踏まえた学校運営の改善に取組み本校学生が質の高い実践的な職業教育を享受できるよう学校運営の改善と充実を目指す事を基本方針とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	1 学校の理念・目的・育成人材像はさだめられているか
(2) 学校運営	ニーズに向けて方向づけられているか
(3) 教育活動	1 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
(4) 学修成果	1 就職率の向上がはかられているか
(5) 学生支援	1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
(6) 教育環境	1 施設・設備は教育の必要性に十分対応できるよう整備されているか
(7) 学生の受入れ募集	1 学生募集活動は、適正に行われているか
(8) 財務	1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
(9) 法令等の遵守	1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
(10) 社会貢献・地域貢献	1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

未曾有の事態となる(コロナパンデミック)における学校・教育現場の「危機管理体制」の見直しの必要性を実感する中 (衛生管理)(休校処置)(分散授業)(リモート授業)等 コロナ感染予防処置を講じてきたが、根本からの教育システムの見直しが急務である全職員と関連業界の企業様・地域周辺住民の方 全てのお力を借りて新しい学校づくりに着手しました。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和1年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
柴崎 徹	名古屋クレストンホテル	令和3年4月1日～令和7年3月31日(4年)	企業

久保田 一成	税理士法人 横須賀・久保田	令和3年4月1日～令和7年3月31日(4年)	税理士
本庄 高博	名古屋観光専門学校 校友会	令和3年4月1日～令和7年3月31日(4年)	卒業生
田島 治郎	栄東町づくりの会	令和3年4月1日～令和7年3月31日(4年)	地域住民

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
(ホームページ)(広報誌等の刊行物)にて 毎年度(5月～9月末まで)に公表

URL: <http://www.nag.ac.jp/evaluation/>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等関係者に情報提供することで相互の対話が促進され、学校内外の実習・就職指導など企業等との連携による活動の充実や産業界のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善をする意図がある。その他、地域住民等に情報公開することで地域に関わる取組みの理解支援を得る。また入学検討者等に対し希望する進路・将来進む業界へ合致しているか明確に示すことや進路指導の活用を資することを基本方針とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	1 校長名
(2)各学科等の教育	6 組織図
(3)教職員	1 教職員人数・構成
(4)キャリア教育・実践的職業教育	1 就職支援等の取組
(5)様々な教育活動・教育環境	1 学校行事
(6)学生の生活支援	1 心のケア
(7)学生納付金・修学支援	1 学費
(8)学校の財務	1 貸借対照表
(9)学校評価	1 自己評価報告書
(10)国際連携の状況	0
(11)その他	0

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)(広報誌等の刊行物)にて 毎年度(5月～9月末まで)に公表

URL: <http://www.nag.ac.jp/evaluation/>

○	HRS 検定対策	研修を生かし、サービスの実技・基本知識を学び、ホテルレストラン技能検定の取得を目指します。	2 前	32	2	○	○	○	○
○	ブライダル映像制作実習	現在結婚式で多く利用されている映像演出の構成・作成の基礎を学びます。映像作成ソフトを使用しオープニング・生い立ち・エンドロールの3作品を仕上げます。	2 通	64	4	○	○	○	○
○	キャリアデザイン	1年次は自己分析・他己分析を行いながら就職活動に向け準備を行い、2年次は進路別に合わせたスキル研修やキャリアデザインを考え目標設定を行います。	1 2 通	64	8	○	○	○	○
○	ドレススタイリスト実習	ドレスの素材やデザイン、和装に関する知識を学んだ上で最近のトレンドを取り入れ、小物をコーディネートし、新郎新婦をより美しく魅せる能力を養います	1 2 通	64	8	○	○	○	○
○	カラーセラピスト検定対策	1年次に学んだ色彩検定の知識を生かし、コミュニケーションツールとしてカラーセラピー検定の取得を目指します。	2 後	32	2	○	○	○	○
○	サービス介助士	お手伝いが必要とされている方への補助方法を実体験で学び、現場で臨機応変な対応が出来る知識・技術・気付きを身につけます。	2 後	32	2	○	○	○	○
○	インターンシップ 研修	内定を頂いた企業にて就業内容について早期から研修を行い習得を目指す。	2 通	(64)	(4)	○	○	○	○
合計			35 科目	1952	単位時間 (134 単位)				
		卒業要件及び履修方法			授業期間等				
					1 学年の学期区分		2 期		
					1 学期の授業期間		16 週		

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																									
名古屋観光専門学校		平成3年3月30日	木村 新太郎		〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄 5-11-29 (電話) 052-263-6881																									
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																									
学校法人 Adachi 学園		昭和42年1月12日	安達 暁子		〒101-0062 東京都千代田区稲田駿河台2番館111番地 (電話) 03-5283-6288																									
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																								
商業実務	商業実務専門課程	プライダビジネス学科 ドレススタイリストコース			平成15年文部科学省 告示第14号	—																								
学科の目的 国際化する社会でプライダ業界は、歴史・文化・人種といった社会を形成する枠組みが変化し時代とともに「結婚式のかたち」が多様化してきました。本校プライダビジネス学科では形骸化する事のない「結婚の本質」を学習の要とし、日本固有の文化と歴史を継承しプライダ業界で活躍出来る人材の育成を実践し生涯学習の振興に資する事を目的とする。																														
認定年月日 平成28年2月19日																														
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義		演習	実習	実験	実技																						
	2年		120単位	16単位	26単位	72単位	0単位	6単位																						
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																								
160人の内数		9人	0人	4人	17人	21人																								
学期制度 ■1学期:4月1日～9月30日 ■2学期:10月1日～3月31日		成績評価 ■成績表:有 ■成績評価の基準・方法 出席日数+平常点+筆記試験又は実習評価による4段階評価																												
長期休み ■学年始:4月8日 ■夏季:7月27日～9月1日 ■冬季:12月21日～1月5日 ■学年末:3月16日		卒業・進級条件 所定の過程を納め試験に合格した者について平常の成績及び性向を斟酌し進級および卒業を認める。																												
学修支援等 ■クラス担任制:有 ■個別相談・指導等の対応 カウンセリング・家庭訪問		課外活動 ■課外活動の種類 野球部・チアリーダーサークル・プラスバンドサークル 学園祭実行委員・スポーツ大会実行委員・挨拶委員 地域ボランティア活動 ■サークル活動:有																												
就職等の状況※2 ■主な就職先・業界等(令和2年度卒業生) 結婚式場・プライダ業界 ■就職指導内容 インターンシップ研修・学内企業説明会・個別指導 ■卒業生数:9人 ■就職希望者数:7人 ■就職者数:7人 ■就職率:100% ■卒業者に占める就職者の割合:77% ■その他: (令和2年度卒業生に関する 令和3年3月31日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3 <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アシスタントウェディングプランナー検定</td> <td>③</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>山野流着装(初傳)</td> <td>③</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>TCカラーセラピスト</td> <td>③</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>WE認定ハワイエティンクコーディネーター</td> <td>③</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>フォーマルスベンヤリスト検定</td> <td>③</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	アシスタントウェディングプランナー検定	③	9	9	山野流着装(初傳)	③	9	9	TCカラーセラピスト	③	9	9	WE認定ハワイエティンクコーディネーター	③	9	9	フォーマルスベンヤリスト検定	③	9	9		
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																											
アシスタントウェディングプランナー検定	③	9	9																											
山野流着装(初傳)	③	9	9																											
TCカラーセラピスト	③	9	9																											
WE認定ハワイエティンクコーディネーター	③	9	9																											
フォーマルスベンヤリスト検定	③	9	9																											
中途退学の現状 ■中途退学者 3名 ■中途率 18.7% 令和2年4月1日時点において、在学者16名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者13名(令和3年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 精神疾患 ■中退防止・中退者支援のための取組 心の相談室(メンタルヘルスセミナーの常駐) 学科長+担任+保護者 三者連携による見守りサポート、家庭訪問・休学・転科の実施																														
経済的支援制度 ■学校独自の奨学金・授業料等減免制度:【有】・無 ・校友会学費支援金制度 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象:【非給付対象】																														
第三者による学校評価 ■民間の評価機関等から第三者評価: 有:【無】																														
当該学校のホームページURL URL: https://www.meican.net																														

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等につ

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

各分野のエキスパートになる為の「専門知識・技術の習得」と「教養豊かな人間を形成する教育」により社会人基礎力・人間力・基礎学力を基本とし、専門知識・技術の取得と実務への適応力、自己啓発・自己形成の意欲向上、社会貢献できる人材を育成する授業カリキュラムの編成をおこなう。授業カリキュラムの編成にあたり、本校の教員のみならず、外部の企業・業界の有職者と連携し、より実践的な授業科目の動向を含めた授業内容の改善を行う事を基本方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会は校長の下に組織され、教育基本法、学校教育法及び専修学校設置基準、および本校の定める諸規定に基づき、授業カリキュラムの編成をおこなう。委員会における意思決定の過程は学科長より授業カリキュラムの説明を行い、委員会により授業科目の開設及び廃止や授業科目の実施内容の改善等を審議、委員会における議決内容については、校長により取りまとめを行い学則・授業カリキュラム等の変更に関する諸手続きを経て翌年度以降における授業カリキュラムとして実施。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年5月31日現在

名前	所属	任期	種別
川添 恭介	公益財団法人 名古屋コンベンションビューロー	令和3年4月1日～ 令和7年3月31日(4年)	①
豊田 涼子	一般社団法人 全日本プライダル協会	令和3年4月1日～ 令和7年3月31日(4年)	①
鈴木 結美子	株式会社 ウイツシュ	令和3年4月1日～ 令和7年3月31日(4年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

(開催日時(実績))

第15回 令和2年9月28日 13:30～15:30

第16回 令和3年2月22日 17:30～19:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

プライダル業界では、長引くコロナ禍の中 リモートによる営業活動・接客業務が必須となり(ITスキル)と(語学スキル)に優れた人材が求められる。これに伴い学校では、ITの知識のみならず(ネットワーク・リモート・SNS)を使った実習授業を増やし技術修得と外国人講師による外国語授業を再編成。アフターコロナを見据えた人材育成を進める。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業との連携により、学生は実際の現場にて「真の職業人」になる為の実践的スキル・資質の向上を図る。企業側は将来の人材の確保及び運営管理の向上を図る為の人事管理の一環をなすという目的のもと働くことの意義および実社会の組織構造と動向を理解させ、専門教育科目を学ぶ意義を再確認させつつ将来の職業選択に向けての準備をさせることを目的とし本校と企業とが連携を図り産学のパイプを構築する事を基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

学生の職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するため、実習・演習等において当該企業との連携により企業実習授業をおこなう。企業実習授業において事前の打ち合わせを綿密に行い実習授業内容・成果目標や評価方法を明確にすることにより、実践的な職業教育の質の確保による学生の知識・技術の向上を図る。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
結婚式プロデュース実習	本物の新郎新婦様を募集し、学生から一から企画・打ち合わせ・準備・施行を一貫し本物の結婚式を創り上げます。施行は校内外の施設を使用し実際の現場で再現します。	名古屋クレストンホテル
挙式・披露宴実習	アテンド実習・ウエディングプランニングと連動し行います。テーマに合わせたプランニングをチームで行い実際に挙式披露宴に仕上げます。施行は校内外の施設を使用し実際の現場で再現します。	株式会社 Glanz

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

企業と連携した研修は、教員に対して職務の遂行に必要な知識・技術を修得させ、その職務の遂行に必要な教員の能力・資質等の向上を図る事を基本方針とする。また、研修は学校長により計画・実施され、教員の勤務年数や性行を学生アンケートと学生取得資格率・就職率等により総合的に判断し、当該教員に必要と思われる研修を受けさせるよう配慮し、教員はその研修に対し企業の指導が効果的に実施されるよう従い、自身の知識・技術の向上に努めなければならない。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「ハワイ・ウェディング・コーディネーター資格」研修 (連携企業等:ウエディングスビューティフル協会)

期間:令和2年9月25日(金) 対象:教職員

内容:ハワイの歴史・文化・婚礼知識を学び、ハワイウェディングコーディネーター取得を目指します。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「メンタルケアー学生指導勉強会」(連携企業等:臨床心理士 戸田先生)

期間:令和2年4月3日(金) 対象:名古屋観光専門学校 全職員(コロナ対策ををしたの分散研修)

内容:あらゆるタイプ別への理解や対処法、親御様との連携方法を学びます。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:ベビーシャワー研修(連携企業等一般社団法人BABYSHOWER JAPAN)

期間:令和2年9月18日(金) 対象:ブライダル業界関連者(一部 リモート研修)

内容:ベビーシャワー事業のブライダル参入、資格認定に関して

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「SUEHIROブラッシュアップセミナー」(連携企業等:合同会社UNIT)

期間:令和2年8月25日(火) 対象:ブライダル業界教育者・人材育成担当者

内容:勤務年数・スキル別指導方法や、フォロー体制の見直しに関しての講習

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。

(1) 学校関係者評価の基本方針

「学校点検・自己評価」をもとに企業・業界、卒業生や地域住民を含めた「学校関係者評価」を実施しホームページ上で公開を行うとともに、その結果を踏まえた学校運営の改善に取組み本校学生が質の高い実践的な職業教育を享受できるよう学校運営の改善と充実を目指す事を基本方針とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	1 学校の理念・目的・育成人材像はさだめられているか
(2) 学校運営	ニーズに向けて方向づけられているか
(3) 教育活動	1 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
(4) 学修成果	1 就職率の向上がはかられているか
(5) 学生支援	1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
(6) 教育環境	1 施設・設備は教育の必要性に十分対応できるよう整備されているか
(7) 学生の受入れ募集	1 学生募集活動は、適正に行われているか
(8) 財務	1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
(9) 法令等の遵守	1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
(10) 社会貢献・地域貢献	1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

未曾有の事態となる(コロナパンデミック)における学校・教育現場の「危機管理体制」の見直しの必要性を実感する中(衛生管理)(休校処置)(分散授業)(リモート授業)等 コロナ感染予防処置を講じてきたが、根本からの教育システムの見直しは急務である全職員と関連業界の企業様・地域周辺住民の方 全てのお力を借りて新しい学校づくりに着手しました。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
柴崎 徹	名古屋クレストンホテル	令和3年4月1日～令和7年3月31日(4年)	企業
久保田 一成	税理士法人 横須賀・久保田	令和3年4月1日～令和7年3月31日(4年)	税理士
本庄 高博	名古屋観光専門学校 校友会	令和3年4月1日～令和7年3月31日(4年)	卒業生
田島 治郎	栄東町づくりの会	令和3年4月1日～令和7年3月31日(4年)	地域住民

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)(広報誌等の刊行物)にて 毎年度(5月～9月末まで)に公表

URL: <http://www.nag.ac.jp/evaluation/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等関係者に情報提供することで相互の対話が促進され、学校内外の実習・就職指導など企業等との連携による活動の充実や産業界のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善をする意図がある。その他、地域住民等に情報公開することで地域に関わる取組みの理解支援を得る。また入学検討者等に対し希望する進路・将来進む業界へ合致しているか明確に示すことや進路指導の活用に資することを基本方針とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	1 校長名
(2) 各学科等の教育	6 組織図
(3) 教職員	1 教職員人数・構成
(4) キャリア教育・実践的職業教育	1 就職支援等の取組
(5) 様々な教育活動・教育環境	1 学校行事
(6) 学生の生活支援	1 心のケア
(7) 学生納付金・修学支援	1 学費
(8) 学校の財務	1 貸借対照表
(9) 学校評価	1 自己評価報告書
(10) 国際連携の状況	0
(11) その他	0

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ)(広報誌等の刊行物)にて 毎年度(5月～9月末まで)に公表

URL: <http://www.nag.ac.jp/evaluation/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程ブライダルビジネス学科) 令和2年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			パソコン実習	日本語ワープロ検定の取得を目標に日本語の入力および文章作成能力を身につけると共にPC活用能力の向上を図ります。	1通	64	4			○	○			○	
○			秘書検定対策	秘書検定の取得を目標とし、サービス業に携わる為の最低限のモラル・常識・社会人としてのビジネス意識の向上を図ります。	1前	32	2		○		○		○		
○			ビジネスマナー	社会人として必要不可欠な挨拶・言葉遣い・身嗜み・電話対応などのビジネスマナーを身につけます。また、相手の立場や人格を尊重したビジネスコミュニケーションのスキルアップを図ります。	2前	32	2		○		○		○		
○			接客サービス	サービス業務に対する心構え、対人心理の理解、応対の技術、口のきき方、態度・振舞いなどサービスに対する考え方や行動の型などを学び、年2回の検定取得につなげます。	1前	32	2		○		○		○		
○			マナープロトコール	サービス業界で必須となる身だしなみや接客マナーを学び、7月にあるマナープロトコール検定合格を目指す。	1前	32	2		○		○			○	
○			会社実務	会社でよく使う職場用語を用いての話法・ビジネス文書のやりとり・郵便の知識・接客応対法等について学び、実習を通してビジネススキルを身につけます。	2前	32	2		○		○		○		
○			ブライダル概論	ブライダル業界の基本知識。日本と他国における慣習や歴史、地域による特性等。お見合い・結納・挙式・披露宴等の知識を学習し、AWP検定取得を目指します。	1通	64	4	○			○		○		
○			フォーマルスペシャリスト検定対策	冠婚葬祭では不可欠なフォーマルウェアに関するきちんとした知識を学び、フォーマルスペシャリスト検定準2級取得を目指します	1後	64	4		○		○			○	
○			和装着付け実習(初傳)	着物に関する知識を学び、小紋の自装・他装の着付けを実習形式で学びます。	12通	128	8			○	○			○	
○			色彩検定対策	色彩検定対策の授業です。色がもたらす役割・効果を理論的・実践的に習得し、色彩検定3級取得を目指します。	1通	64	4		○		○			○	

○	メイクドレス ショー実習	ショーの構成・演出もトータルで考え、企画・準備・施行まで行える技術を身に着けます。	1 通	128	8			○	○		○	○
○	メイクアップ技 術検定対策	1年次に学んだ知識を活かし、2月にメイクアップ技術検定合格を目指します。	1 通	32	2			○	○		○	
○	皮膚衛生学	皮膚の基礎知識を学び、スキンケアや基礎化粧品の知識を学びます。	1 前	32	2			○	○			○
○	メイクドレス ショー実習(応 用)	ショーの構成・演出もトータルで考え、企画・準備・施行まで行える技術を身に着け、外部の会場使ってイベント運営を行います。	2 通	128	8			○	○			○
○	装花・ブーケ実 習	花の扱い方、あしらい方を学びブーケや花束、披露宴の会場装花など基本的な技術を習得します。	1 通	64	4			○	○			○
○	オートクチュール フラワー実習	装花の原価計算や予算内で企画・買い付け・製作まで一貫して行い、結婚式を承る上で欠かせない装花の打ち合わせの知識や技術を身につけます。	2 通	64	4			○	△	○		○
○	サービス実務研 修	リゾートホテルへ行き泊まり込みで研修を行います。サービスの知識・技術の向上だけでなく、スタッフの方とのコミュニケーションを行い仕事の楽しさ・厳しさを学びます。	1 前	64	4			○	△	○		○
○	フォトスタジオ 実習	ブライダルフォトスタジオの企業にお越しいただき、撮影の基礎やアテンド、撮影補助を学び現場でも活用できるスキルを身に着けます。	1 前	32	2			○		○		○
○	ソーイング実習	ミシンや裁縫の技術を学び、ドレスのお直しや衣裳小物の補整が出来るよう技術を身に着けます。	1 後	32	2			○		○		○
○	山野流着装中傳	花嫁衣裳・列席着付を学び、山野流中傳取得を目指します。	1 2 通	128	8			○	○			○
○	ヘアメイク実習	ヘアメイクの基本的な知識・技術を学び、テーマに合わせたヘアメイクが出来るよう見につけます。	1 2 通	128	8			○	○	△	○	○
○	ドレス制作実習	デザイン画をおこし、生地を買い付けオリジナルドレスを製作する技術を身に着けます。	1 後 2 通	64	4			○	○			○
○	ブライダル アイテム制作実 習	商品の企画力・提案力を養い、企画したブライダルアイテムの制作を行います。	1 2 通	96	6			○	○			○
○	A B C検定対策	A B C 検定対策の授業です。1年半学んだ知識を復習し、過去問題を繰り返し解き、全員合格を目指します。	2 後	32	2			○		○		○

○	結婚式 プロデュース実 習	業界と連携し、外部の施設を利用し挙式・披露宴を行います。また、実際に結婚式を行うカップルを担当し結婚式を創り上げます。	2 通	128	8		○	○	△	○	○
○	コミュニケー ション英語	日常会話・ビジネス会話を学び、実践で使えるコミュニケーション能力を身につけ国際社会に対応していける人材を目指します。	1 通	32	2		○	○		○	
○	ドレスサロン接 客実習	実際に制服を着てドレスサロンでの接客や商品管理、梱包作業等を学びます。	2 前	32	2		○	○			○
○	ブライダル映像 制作実習	現在結婚式で多く利用されている映像演出の構成・作成の基礎を学びます。映像作成ソフトを使用しオープニング・生い立ち・エンドロールの3作品を仕上げます。	2 通	64	4		○	○			○
○	キャリアデザイ ン	1年次は自己分析・他己分析を行いながら就職活動に向け準備を行い、2年次は進路別に合わせたスキル研修やキャリアデザインを考え目標設定を行います。	1 2 通	64	4		○	○			○
○	ドレス スタイリスト実 習	ドレスの素材やデザイン、和装に関する知識を学んだ上で最近のトレンドを取り入れ、小物をコーディネートし、新郎新婦をより美しく魅せる能力を養います	1 2 通	64	4		○	○			○
○	カラーセラピ スト検定対策	1年次に学んだ色彩検定の知識を生かし、コミュニケーションツールとしてカラーセラピー検定の取得を目指します。	2 後	32	2		○	○			○
○	サービス介助士	お手伝いが必要とされている方への補助方法を実体験で学び、現場で臨機応変な対応が出来る知識・技術・気付きを身につけます。	2 後	32	2		○	○			○
○	インターンシップ 研修	内定を頂いた企業にて就業内容について早期から研修を行い習得を目指す。	2 通	(64)	(4)		○	○		○	○
合計			33 科目		2016 単位時間(126 単位)						
卒業要件及び履修方法						授業期間等					
						1学年の学期区分			2 期		
						1学期の授業期間			16 週		

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。